

近畿地建
資料配布

配布日時	平成10年7月31日 14:00
------	---------------------

件名	平成9年度道路交通センサス (一般交通量調査)の結果の速報について 【近畿地方建設局管内】【全国】
----	--

取扱い	_____
-----	-------

同時配布	近畿建設記者クラブ 大手前記者クラブ (全国版は全国同時発表)
------	---

問い合わせ先	建設省 近畿地方建設局 道路部 道路計画第二課 課長 辻森 和美 課長補佐 澤田石 貞彦 Tel 06(942)1141(内線4251・4252) 06(945)7420(夜間)
--------	---

平成9年度道路交通情勢調査の概要と結果について

- ① 近畿地建管内全体の走行台キロは、平成 6 年度に対して 7%増加しました。貨物車では 1%と微増ですが、乗用車は 12%と大幅に増加しています。

(P3,P8,P9 参照)

- ② 管内全府県において乗用車は増加しており、特に奈良県・和歌山県での伸びが大きくなっています。貨物車では兵庫県・福井県・滋賀県では増加しているものの、他の府県は減少しています。

(P11 参照)

- ③ なお、GDP(全国値)は 5%増であり、近畿地建管内全体の走行台キロはGDPの伸びを上回っています。

(P9 参照)

- ④ また、旅行速度については、走行台キロが増加しているもののわずかではありますが上昇しました。

(P4,P12 参照)

1. はじめに

全国道路交通情勢調査（道路交通センサス）は、道路状況、交通量、旅行速度、自動車の起終点、運行目的等を調査するもので、道路と道路交通の実態を把握し、道路計画・管理に活用し、各種の道路施策を策定する上での基礎資料となるものです。

道路交通センサスは、昭和3年から3～5年ごとに実施してきており、昭和55年度からは、5年ごとに実施することとし、その中間年（3年目）に一般交通量調査のみを行う補完的な調査を実施しています。

平成9年度は中間年に当たり、一般交通量について調査を行ったものです。

2. 平成9年度調査について

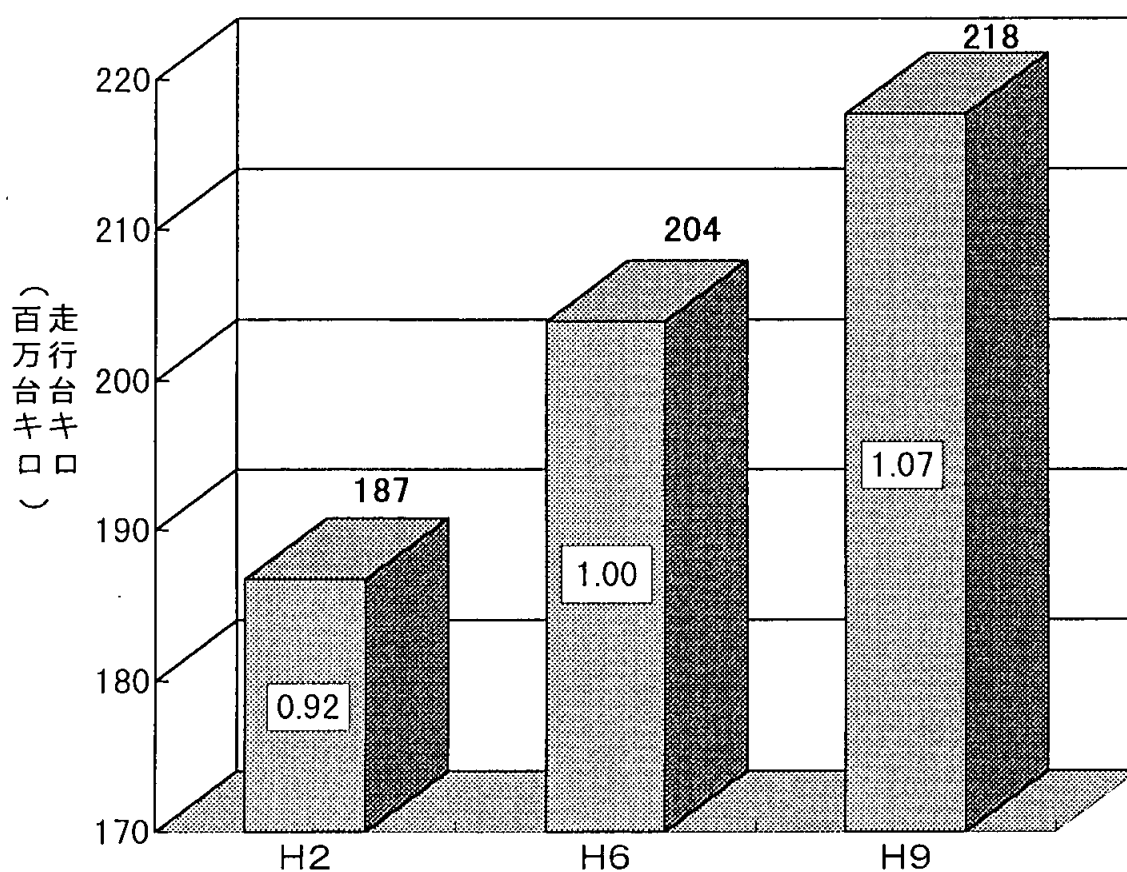
一般交通量調査は、近畿地方建設局管内の高速自動車国道、都市高速道路、一般国道、主要地方道、一般府県道、および政令指定市の市道を対象（21,500km）とし、これらの道路を道路条件、交通条件の著しい変化のない区間に分割して、道路状況、交通量、旅行速度（停止も含めた区間平均速度）について調査（5,000箇所）を行うものです。道路幅員、歩道延長等の道路現況については、その区間を単位として道路管理台帳から集計を行いました。交通量については各区間毎に1ヶ所の交通量観測地点を設け、方向別車種別に人手観測により観測を行いました。

3. 近畿地方建設局管内の調査結果の概要

走行台キロが増加傾向にあります

○平成9年度の近畿地方建設局管内における車両総走行台キロは平成6年度と比較して7%の伸びとなっています。

○平成6年度から平成9年度の年平均伸び率は2.3%で、平成2年度から平成6年度にかけての伸び率と同程度となっています。

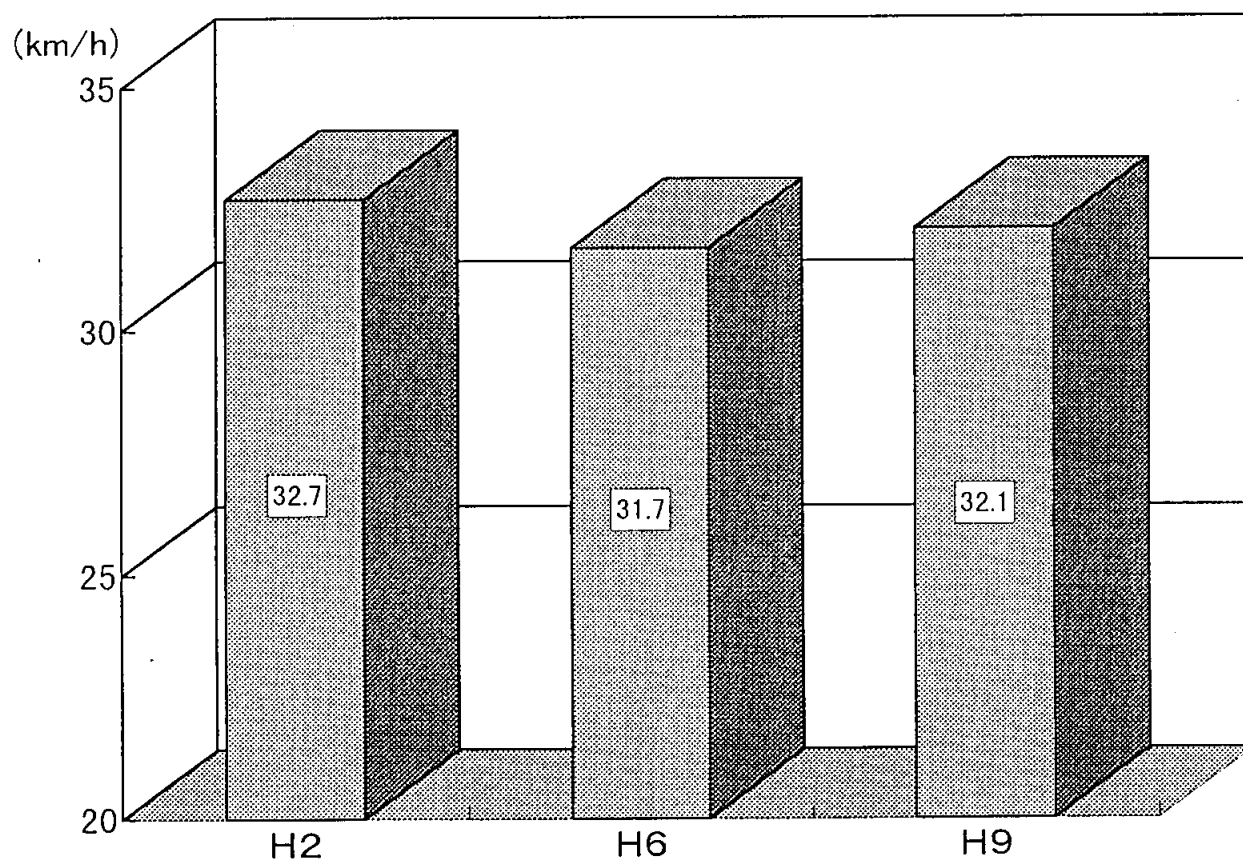
走行台キロの推移

※ □ 内は、H6の値を1.00としたときの比率

平日のラッシュ時旅行速度が上昇しました

○近畿地方建設局管内における平日のラッシュ時旅行速度は、平成6年度から平成9年度にかけて、わずかながら上昇しました。

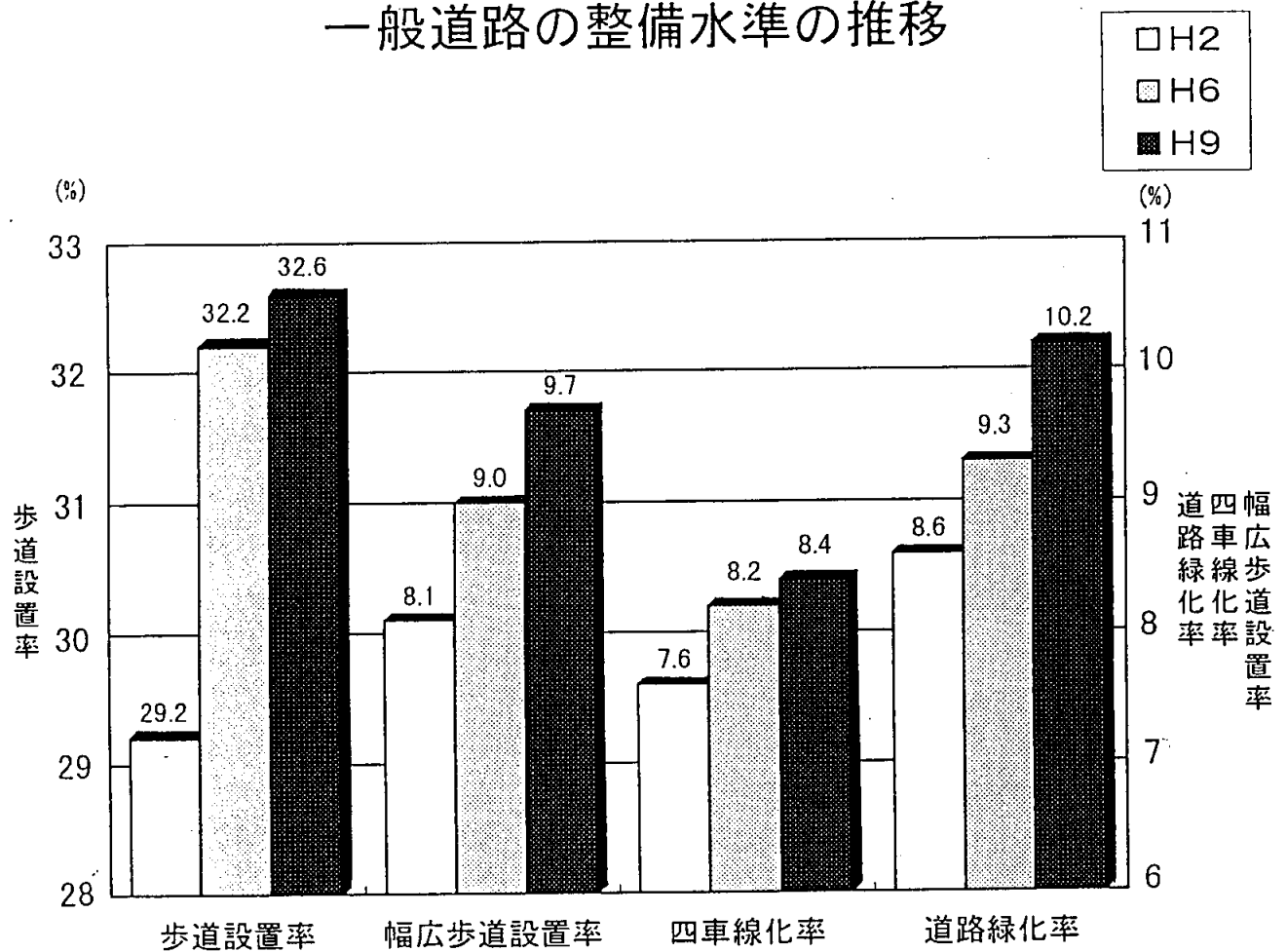
平日のラッシュ時旅行速度の推移



一般道路の整備水準が向上しました。

○一般道路（一般国道、主要地方道、府県道）については、歩道の整備、幅の広い歩道の整備（3m以上）、四車線化、道路緑化が、着実に進んでいます。

一般道路の整備水準の推移



4. 24 時間交通量の上位 10 傑

(1) 平日交通量

表－1 平日 24 時間交通量の上位 10 傑（高速自動車国道）

順位	交通量 (台/24h)	乗用車 構成比 (%)	貨物車 構成比 (%)	路線名	交通量観測地点名
1	136,675	62.3%	37.7%	近畿自動車道	松原 JCT～長原 IC 間
2	114,369	39.3%	60.7%	名神高速道路	茨木 IC～吹田 JCT 間
3	112,437	81.4%	18.6%	近畿自動車道	松原 JCT～松原 IC 間
4	109,596	64.9%	35.1%	近畿自動車道	東大阪北 IC～大東鶴見 IC 間
5	105,885	57.0%	43.0%	近畿自動車道	摂津南 IC～摂津北 IC 間
6	103,703	65.8%	34.2%	近畿自動車道	長原 IC～八尾 IC 間
7	102,425	66.7%	33.3%	近畿自動車道	八尾 IC～東大阪南 IC 間
8	101,757	51.0%	49.0%	西名阪自動車道	柏原 IC～藤井寺 IC 間
9	101,125	47.1%	52.9%	中国自動車道	宝塚 IC～西宮北 IC
10	100,426	36.7%	63.3%	名神高速道路	府境（京都府・大阪府）～茨木 IC 間

表－2 平日 24 時間交通量の上位 10 傑（都市高速道路）

順位	交通量 (台/24h)	乗用車 構成比 (%)	貨物車 構成比 (%)	路線名	交通量観測地点名
1	133,137	55.0%	45.0%	阪神高速大阪東大阪線	大阪市中央区船場中央 2 丁目
2	119,140	63.0%	37.0%	阪神高速大阪池田線	大阪市西区新町 1 丁目
3	115,886	56.5%	43.5%	阪神高速大阪東大阪線	大阪市東成区東今里 1 丁目
4	115,618	61.9%	38.1%	阪神高速大阪池田線	大阪市中央区島之内 1 丁目
5	99,187	64.7%	35.3%	阪神高速大阪池田線	大阪市西淀川区歌島 4 丁目
6	97,120	50.9%	49.1%	阪神高速神戸西宮線	芦屋市精道町
7	94,393	56.6%	43.4%	阪神高速大阪堺線	大阪市西成区千本北 2 丁目
8	93,277	43.6%	56.4%	阪神高速神戸西宮線	神戸市中央区新港町 1 5
9	91,177	63.4%	36.6%	阪神高速大阪守口線	大阪市北区長柄東 2 丁目
10	85,626	53.8%	46.2%	阪神高速湾岸線	大阪市住之江区南港東 4 丁目

表－3 平日 24 時間交通量の上位 10 傑（一般道路）

順位	交通量 (台/24h)	乗用車 構成比 (%)	貨物車 構成比 (%)	路線名	交通量観測地点名
1	141,157	72.6%	27.4%	一般国道 4 2 3 号	吹田市広芝町
2	109,062	61.9%	38.1%	大阪中央環状線	吹田市万国博記念公園千里橋下部
3	92,234	51.3%	48.7%	一般国道 2 号	加古川市加古川町河原
4	87,009	53.7%	46.3%	一般国道 1 号	枚方市菊ヶ丘南町
5	86,411	60.1%	39.9%	一般国道 2 6 号	堺市浜寺船尾町東 3 丁
6	77,624	72.1%	27.9%	堺狭山線	堺市深阪
7	75,024	49.8%	50.2%	一般国道 4 3 号	尼崎市東本町 2 丁目
8	67,207	47.6%	52.4%	六甲大橋	神戸市東灘区向洋町東 1 丁目
9	64,038	71.3%	28.7%	一般国道 2 4 号	奈良市杏町
10	62,263	61.6%	38.4%	神戸大橋	神戸市中央区港島 2 丁目

- 注) 1. 一般国道の一般有料道路を除く。
 2. 一般道路について同一路線で複数の区間がある場合、上位区間のみ示した。
 3. 車線数が 4 以上の区間を対象とした。

(2) 休日交通量

表-1 休日24時間交通量の上位10傑(高速自動車国道)

順位	交通量 (台/24h)	乗用車 構成比 (%)	貨物車 構成比 (%)	路線名	交通量観測地点名
1	116,984	86.0%	14.0%	近畿自動車道	松原JCT～長原IC間
2	101,412	77.5%	22.5%	名神高速道路	茨木IC～吹田JCT間
3	100,550	87.7%	12.3%	近畿自動車道	松原JCT～松原IC間
4	100,102	82.5%	17.5%	中国自動車道	宝塚IC～西宮北IC
5	97,124	84.6%	15.4%	西名阪自動車道	柏原IC～藤井寺IC間
6	91,087	76.5%	23.5%	名神高速道路	府境(京都府・大阪府)～茨木IC間
7	90,772	84.4%	15.6%	西名阪自動車道	藤井寺IC～松原JCT間
8	88,202	80.7%	19.3%	西名阪自動車道	香芝IC～県境(奈良県・大阪府)
9	87,557	81.8%	18.2%	中国自動車道	県境(大阪府・兵庫県)～宝塚IC
10	85,623	83.7%	16.3%	近畿自動車道	東大阪北IC～大東鶴見IC間

表-2 休日24時間交通量の上位10傑(都市高速道路)

順位	交通量 (台/24h)	乗用車 構成比 (%)	貨物車 構成比 (%)	路線名	交通量観測地点名
1	117,620	81.9%	18.1%	阪神高速大阪東大阪線	大阪市中央区船場中央2丁目
2	100,525	85.9%	14.1%	阪神高速大阪池田線	大阪市中央区島之内1丁目
3	100,473	85.7%	14.3%	阪神高速大阪池田線	大阪市西区新町1丁目
4	88,460	81.6%	18.4%	阪神高速神戸西宮線	芦屋市精道町
5	83,562	87.5%	12.5%	阪神高速大阪池田線	大阪市西淀川区歌島4丁目
6	74,516	79.9%	20.1%	阪神高速神戸西宮線	神戸市中央区新港町15
7	71,583	85.4%	14.6%	阪神高速大阪守口線	大阪市北区長柄東2丁目
8	69,979	88.8%	11.2%	阪神高速大阪東大阪線	大阪市東成区東今里1丁目
9	69,562	83.9%	16.1%	阪神高速大阪堺線	大阪市西成区千本北2丁目
10	69,130	84.4%	15.6%	阪神高速大阪松原線	大阪市平野区瓜破6丁目

表-3 休日24時間交通量の上位10傑(一般道路)

順位	交通量 (台/24h)	乗用車 構成比 (%)	貨物車 構成比 (%)	路線名	交通量観測地点名
1	120,966	90.4%	9.6%	一般国道423号	吹田市広芝町
2	93,325	85.4%	14.6%	大阪中央環状線	吹田市万国博記念公園千里橋下部
3	86,856	82.1%	17.9%	一般国道2号	加古川市加古川町河原
4	83,845	83.8%	16.2%	一般国道1号	枚方市菊ヶ丘南町
5	69,865	82.5%	17.5%	一般国道26号	堺市浜寺船尾町東3丁
6	68,323	85.8%	14.2%	堺狭山線	堺市深阪
7	61,062	79.2%	20.8%	一般国道25号	奈良市米谷町
8	60,929	81.4%	18.6%	一般国道43号	西宮市浜脇町
9	59,946	88.6%	11.4%	一般国道9号	京都市西京区大枝沓掛町13
10	59,086	87.2%	12.8%	一般国道24号	奈良市杏町

- 注) 1. 一般国道の一般有料道路を除く。
 2. 一般道路について同一路線で複数の区間がある場合、上位区間のみ示した。
 3. 車線数が4以上の区間を対象とした。

5. 調査結果の詳細

(1) 交通量の状況

- ◎ 一般県道以上の自動車走行台キロについて、平成6年度から平成9年度の年平均伸率は、2.3%の伸びとなっている。(図1、表1)
- ◎ 自動車保有台数の伸び 2.4%/年、免許保有者数の伸びが 2.0%/年で、自動車走行台キロの伸びと同程度となっている。(図2、表1)
- ◎ 車種別にみると、平成6年度から平成9年度の年平均伸率は、乗用車の伸びが著しく 3.9%/年で、一方、貨物車は 0.3%/年の伸びとなっている。(図3、表1)

注) 走行台キロ：自動車の走行距離の総和。(調査単位区間延長にその調査単位区間の交通量を乗じて加算した値)

貨物車：軽貨物車、小型貨物車、貨客車、普通貨物車、特種(殊)車

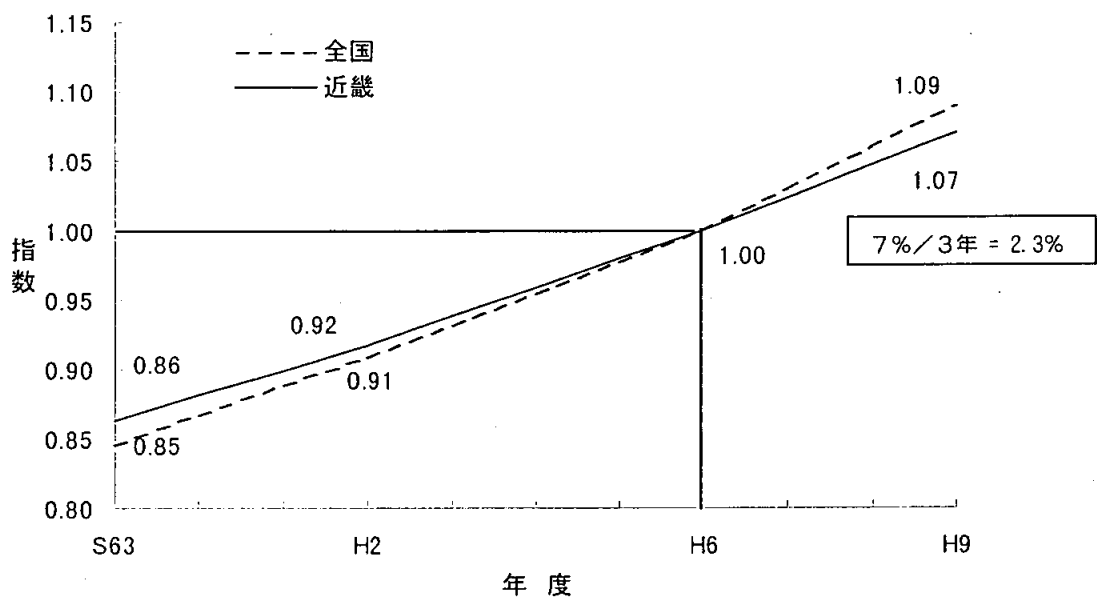


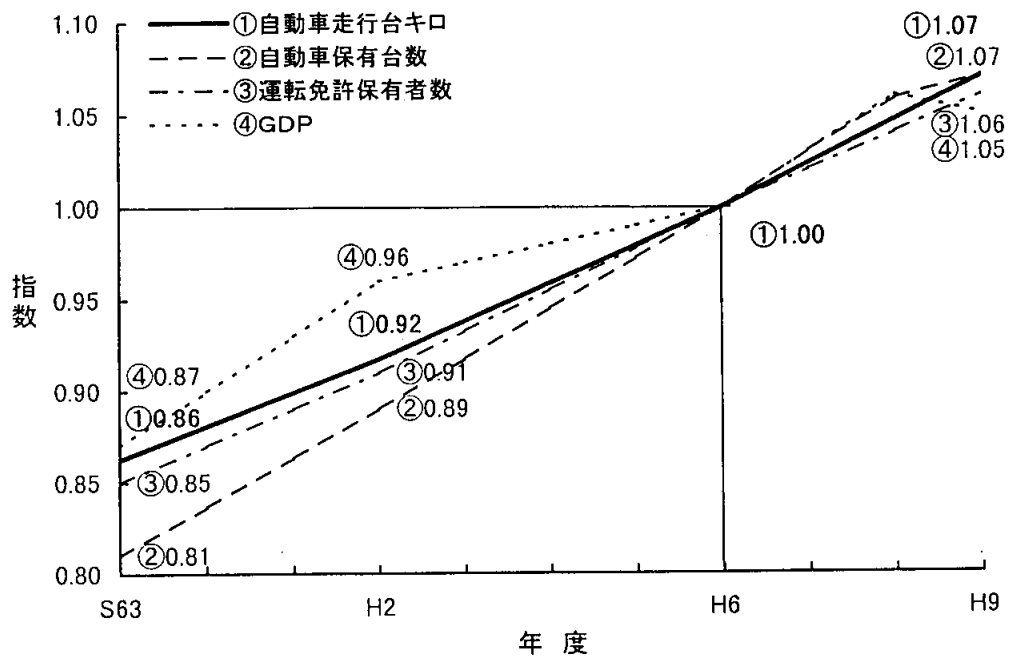
図1 自動車走行台キロの推移

表1 年平均伸率の比較 (%/年)

	H6→H9	(参) H2→H6
自動車走行台キロ	2.3	2.3
乗用車	3.9	4.5
貨物車	0.3	0.03
自動車保有台数	2.4	3.0
免許保有者数	2.0	2.6
GDP	1.8	1.3

注1) 自動車走行台キロの伸び率は近畿地方建設局管内の値

注2) 自動車保有台数は平成9年度末、免許保有者数は平成9年度末、GDPは平成9年度末までの年平均伸率で全国の値。



1. 走行台キロは、道路交通センサスによる24時間走行台キロ。
2. 運転免許保有者数は、警察庁調べによる平成9年末までの値。
3. 自動車保有台数は、運輸省「陸運統計要覧」による平成9年度末までの値。
4. GDPは実質（H2年価格）。経済企画庁による9年度末までの値。

図2 自動車走行台キロと社会経済指標の推移

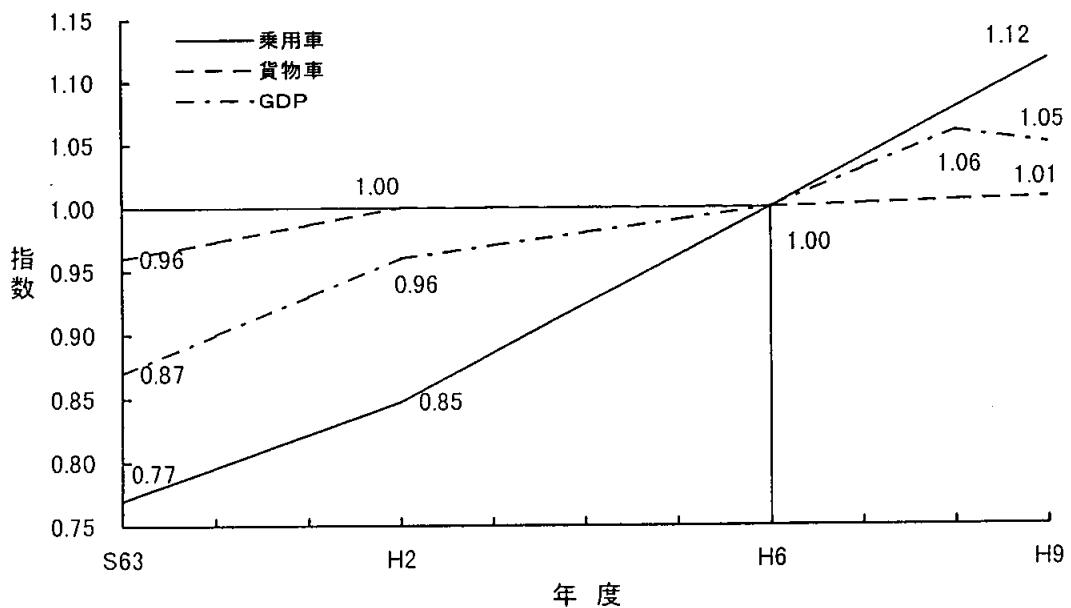


図3 車種別自動車走行台キロとGDPの推移

◎ 平均交通量についてみても、貨物車の割合が平成6年度の45.7%から、平成9年度には43.1%に低下している。(図4)

注) 平均交通量：平均走行台キ口を総延長で除したものの。(各調査単位区間ごとの交通量を加重平均した値)

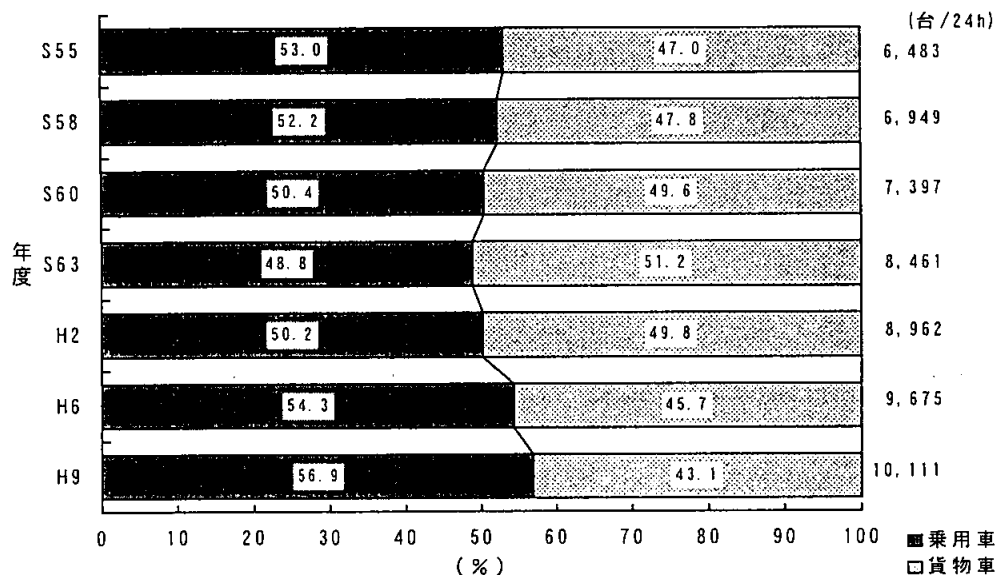


図4 平均交通量の車種別割合

◎ 平日の大型車混入率は、平成6年度から平成9年度にかけて、高速自動車国道及び都市高速で低くなっているが、一般道路では若干高くなっている。(図5)

注) 大型車混入率は、全通行車両に対する大型車(バス、普通貨物車、特種(殊)車)の比率

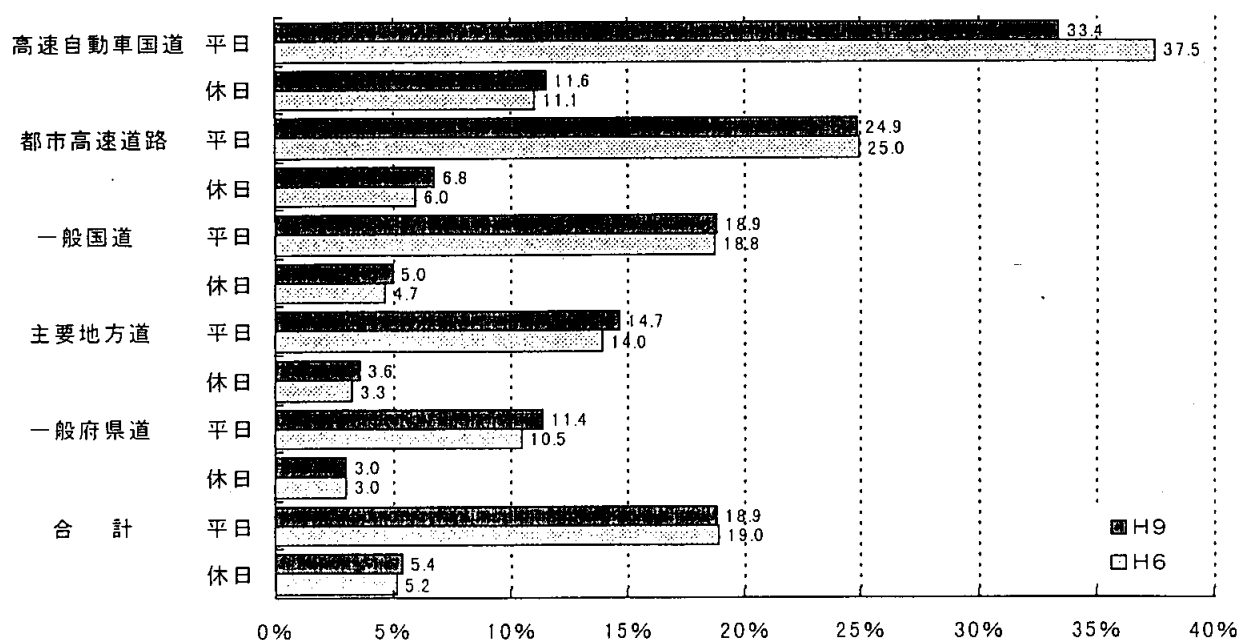


図5 道路種別ごとの平日、休日大型車混入率

- ◎ 乗用車の走行台キロは各府県で増加し、奈良県・和歌山県が大きな伸びを示しています。貨物車は、兵庫県・福井県・滋賀県で増加しているものの、他府県では減少しています。

表2 走行台キロの各府県別の伸び(H9/H6)

	乗用車	貨物車	全 体
大阪府	1.11	0.96	1.04
兵庫県	1.11	1.05	1.08
京都府	1.09	0.99	1.05
奈良県	1.18	0.98	1.09
和歌山県	1.18	0.97	1.08
福井県	1.14	1.07	1.11
滋賀県	1.12	1.06	1.09
近畿管内合計	1.12	1.01	1.07

(2) 旅行速度

- ◎ 平成9年度の平日のラッシュ時旅行速度は、道路全体では平成6年度に比べて、0.4km/h上昇している。
- ◎ 平成9年度における休日のラッシュ時旅行速度は、平日に比べ0.9km/h高くなっている。とくに都市高速道路の休日旅行速度は、平日旅行速度に比べ25.1km/h高くなっている。

注1) 旅行速度：調査区間長をラッシュ時の走行所要時間で除した平均速度

注2) ラッシュ時：平日は午前7時～9時または午後5時～7時の時間帯

休日は1日のうちで最も交通量が多い時間帯

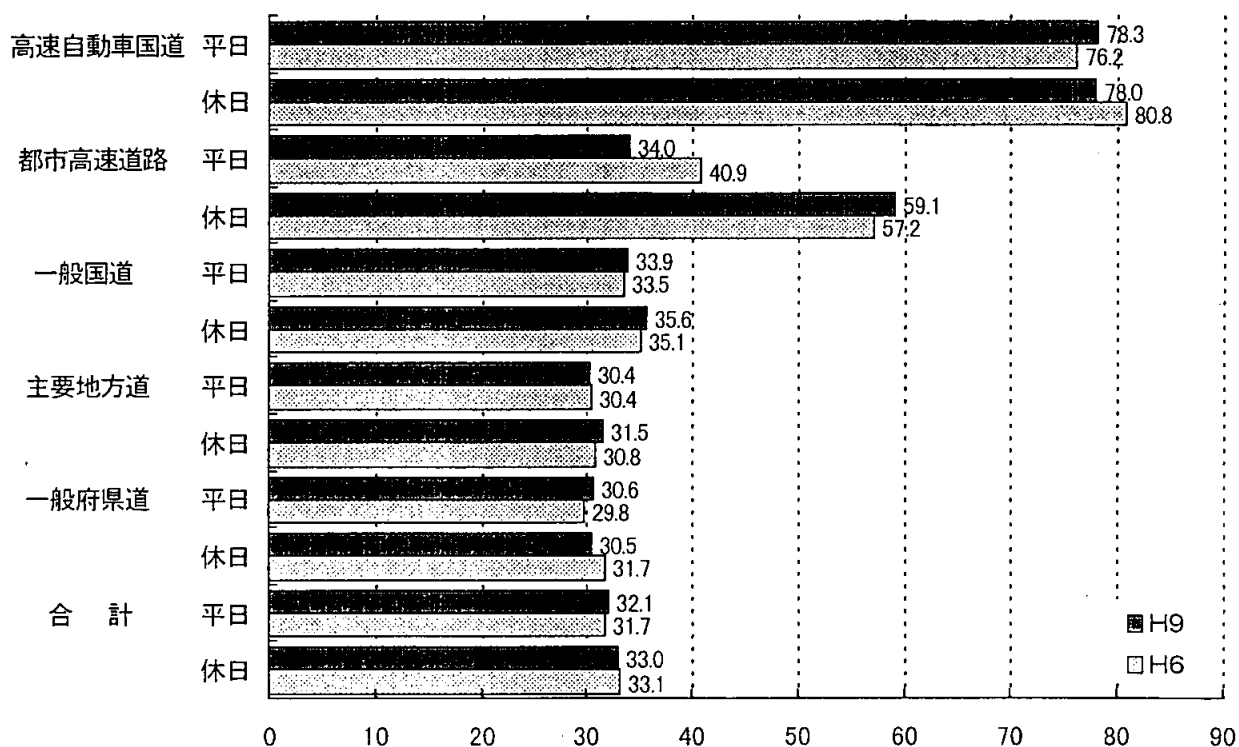


図6 道路種別ごとの平日、休日のラッシュ時旅行速度

(3) 道路整備水準（一般道路）

◎ 一般道路について、歩道設置、うち幅の広い歩道設置、四車線化、道路緑化は過去から一貫して増加している。

注) 一般道路：一般国道と主要地方道と一般府県道

幅広歩道：幅員が3 m以上の歩道

四車線化：車線数が4車線以上で整備された道路

道路緑化：街路樹等の植栽が施された道路

表3 一般道路の整備水準の推移

年度	歩道設置				四車線化		道路緑化		調査延長 (km)
	延長 (km)	率 (%)	うち幅広 歩道(km)	率 (%)	延長 (km)	率 (%)	延長 (km)	率 (%)	
S55	3,670.8	20.0	943.3	5.1	1,066.3	5.8			18,392.8
S58	4,145.4	22.4	1,120.4	6.0	1,203.1	6.5			18,522.1
S60	4,609.1	24.9	1,273.9	6.9	1,275.7	6.9	1,279.6	6.9	18,522.2
S63	5,155.8	27.5	1,428.5	7.6	1,370.6	7.3	1,534.0	8.2	18,752.9
H2	5,557.6	29.2	1,549.3	8.1	1,446.8	7.6	1,642.4	8.6	19,063.1
H6	6,212.5	32.2	1,730.1	9.0	1,579.1	8.2	1,792.1	9.3	19,279.9
H9	6,742.4	32.6	1,993.2	9.7	1,732.5	8.4	2,099.9	10.2	20,651.8

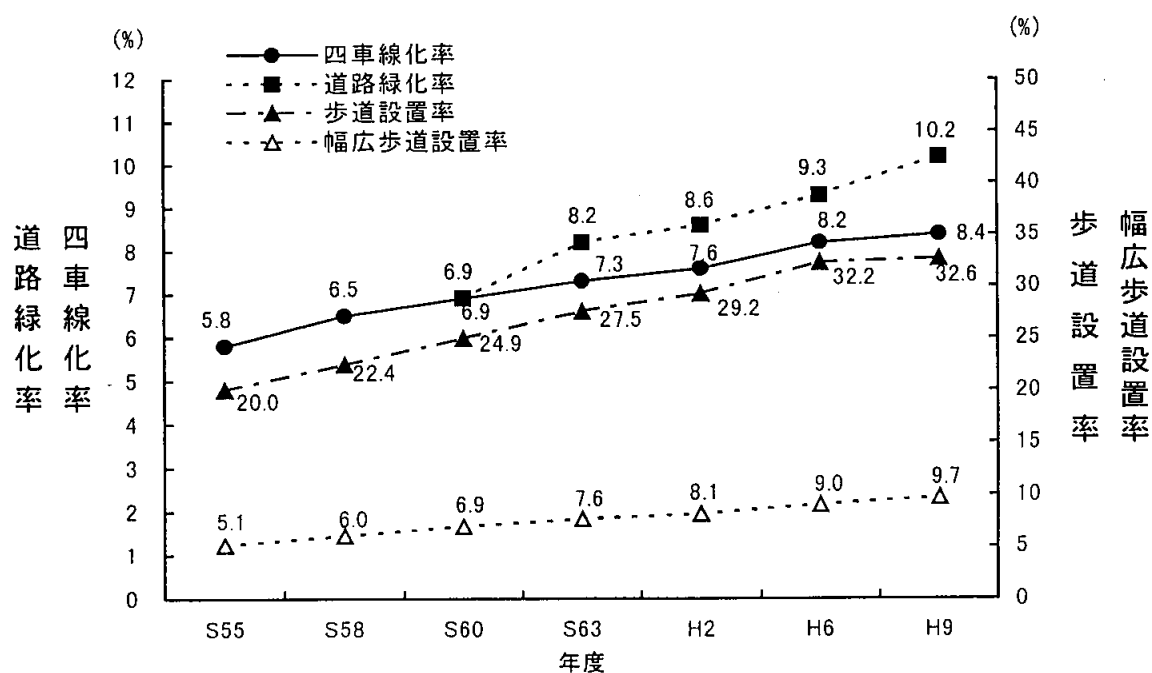


図7 一般道路の整備水準の推移

平成10年7月31日

建設省道路局企画課

平成9年度道路交通センサス
(一般交通量調査)の結果の速報について

同時発表記者クラブ

全国 : 建設クラブ、専門新聞記者会
北海道ブロック : 北海道開発記者クラブ、北海道建設記者会
東北ブロック : 宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会
関東ブロック : 建設クラブ、竹芝記者クラブ
北陸ブロック : 新潟県政記者クラブ、新県政記者クラブ、富山県政記者クラブ、
石川県政記者クラブ
中部ブロック : 名古屋建設記者クラブ
近畿ブロック : 近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ
中国ブロック : 合同庁舎記者クラブ、中国地方建設局記者クラブ、広島県政記者ク
ラブ
四国ブロック : 高松経済記者クラブ
九州ブロック : 九州建設記者クラブ、九州建設専門記者クラブ
沖縄ブロック : 沖縄総合事務局記者クラブ、沖縄県政記者クラブ

問 合 わ せ 先

道路局企画課道路経済調査室

課長補佐 森山 誠二

TEL : 03-3580-4311 (内3642)

TEL : 03-5251-1897 (夜間)

(1) 貨物車の走行台キロの伸びはわずか。

- ・平成6年度からの走行台キロの年平均伸率は2.8%で自動車保有台数の伸び(2.4%/年)より高い。免許保有者数の伸びは2.0%/年。
- ・乗用車の走行台キロの伸び(4.6%/年)に対して、貨物車の走行台キロの伸び(0.6%/年)はごくわずかであるのが特徴。

(2) 貨物車の割合が低下している。

- ・一般都道府県以上について平均交通量に占める貨物車の割合が低下。
(H6:44.5%→H9:41.7%)

(3) 走行台キロに占める高速道路と一般国道(直轄)のシェアは依然高い。

- ・貨物車については、走行台キロに占める高速道路と都市高速道路のシェアは、14.3%、一般国道(直轄)のシェアは21.9%。
(高速道路、都市高速道路と一般国道(直轄)の走行台キロ分担率 H6:29.4→29.6%)

(4) 休日のほうが平日よりも交通量が多い道路の延長割合が減少。

- ・一般都道府県道以上の休日平日交通量比が1.0以上の道路の延長割合が減少。
(H6:35.7%→H9:31.7%)

(5) 平均旅行速度は上昇。

- ・平日の平均旅行速度は平成6年度より上昇。

高速道路	H 6 : 72.4 (52.0) km/h→H 9 : 82.8 (64.6) km/h
都市高速道路	H 6 : 25.0 (24.5) km/h→H 9 : 34.9 (34.5) km/h
一般国道計	H 6 : 29.5 (20.7) km/h→H 9 : 31.1 (21.4) km/h
一般国道(直轄)	H 6 : 28.7 (20.7) km/h→H 9 : 29.3 (21.0) km/h
一般国道(その他)	H 6 : 30.7 (20.8) km/h→H 9 : 33.7 (22.6) km/h

() 内は都市部(D I D)の平均旅行速度

1. 道路交通センサスの概要

道路交通センサス(正式名称は、全国道路交通情勢調査)は、建設省、北海道開発庁、沖縄開発庁、都道府県、政令指定市及び日本道路公団、本州四国連絡橋公団、首都高速道路公団、阪神高速道路公団、名古屋高速道路公社、福岡北九州道路公社が合同で全国の道路状況、交通量、旅行速度、自動車の起終点、運行目的等を調査して、全国の道路と道路交通の実態を把握し、道路計画・管理に活用し、各種の道路政策を策定する上での基礎資料となるものである。

道路交通センサスは、昭和3年度から3～5年ごとに実施してきており、昭和55年度からは、5年ごとに実施することとし、その中間年(3年目)に一般交通量調査のみを行う補完的な調査を実施している。今回は中間年にあたるため一般交通量調査のみを実施した。

2. 平成9年度調査の概要

一般交通量調査は、全国の高速自動車国道、都市高速道路、一般国道、主要地方道、一般都道府県道、および一部の市町村道を対象(188,000km)とし、これらの道路を道路条件、交通条件の著しい変化のない区間(35,000箇所うち交通量観測27,600箇所、1区間当り平均約5km)に分割して、道路状況、交通量、旅行速度(停止も含めた区間平均速度)について調査を行うものである。道路幅員、歩道延長等の道路状況についてはその区間を単位として道路管理台帳から取りまとめた。交通量は観測区間ごとに1か所の交通量観測地点を設け、方向別車種別に観測した。

各道路種別の定義

高速道路	国土開発幹線自動車道建設法または高速自動車国道法により指定された路線。
都市高速道路	首都高速道路、阪神高速道路、名古屋高速道路、福岡北九州高速道路。
一般国道(直轄)	道路法第5条に指定された路線のうち道路管理者が建設大臣の国道。
一般国道(その他)	一般国道(直轄)以外の一般国道。
主要地方道	道路法第56条により建設大臣が指定する路線。
一般都道府県道	上記以外の道路。
一般道路	一般国道、主要地方道及び一般都道府県道。
合 計	高速道路、都市高速道路及び一般道路。

注) この他に市町村が管理する市町村道があるが、政令指定市の一部の市道を除き道路交通センサスの対象とはしていない。

1. 交通量の状況

- 1) 一般都道府県道以上の自動車走行台キロについて、平成6年度から平成9年度の年平均伸率は、2.8%の伸び
- 2) 免許保有者数の伸びが2.0%/年で、自動車走行台キロの伸びと比べるとやや低い。自動車保有台数の伸びは2.4%/年とほぼ同程度。
- 3) 車種別に見ると、一般県道以上の平成6年度から平成9年度の年平均伸率は、乗用車の伸びが著しく4.6%/年、一方、貨物車の伸びは0.6%/年。
- 4) 平均交通量についてみても、貨物車の割合は、平成6年度の44.5%から、平成9年度には41.7%に低下。

(注) 走行台キロ：自動車の走行距離の総和。(調査単位区間延長にその調査単位区間の交通量を乗じて加算したもの。)

貨物車：軽貨物車、小型貨物車、貨客車、普通貨物車、特種(殊)車

平均交通量：走行台キロを総延長で除したもの。(各調査単位区間ごとの交通量を加重平均したもの。)

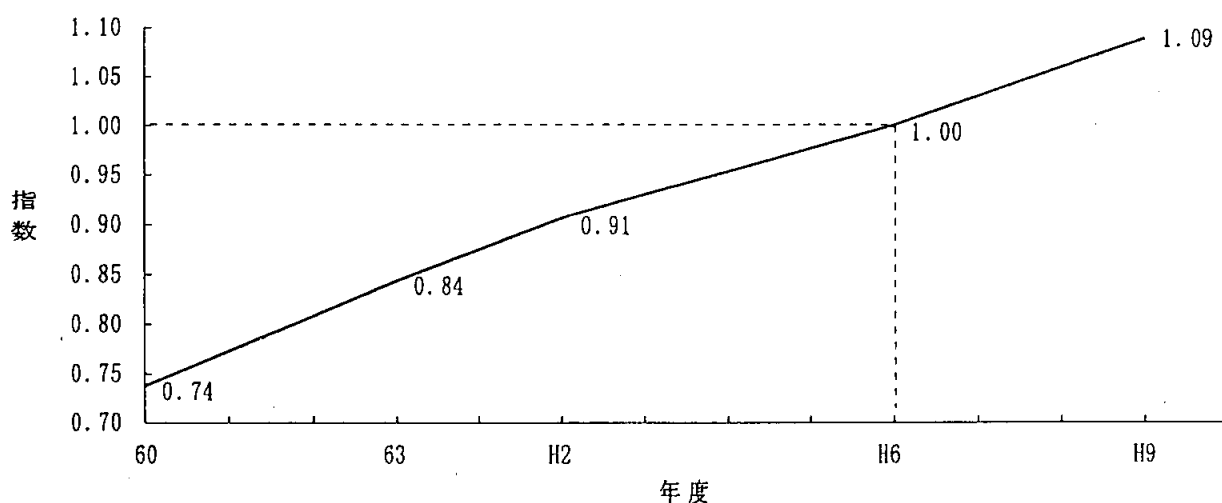
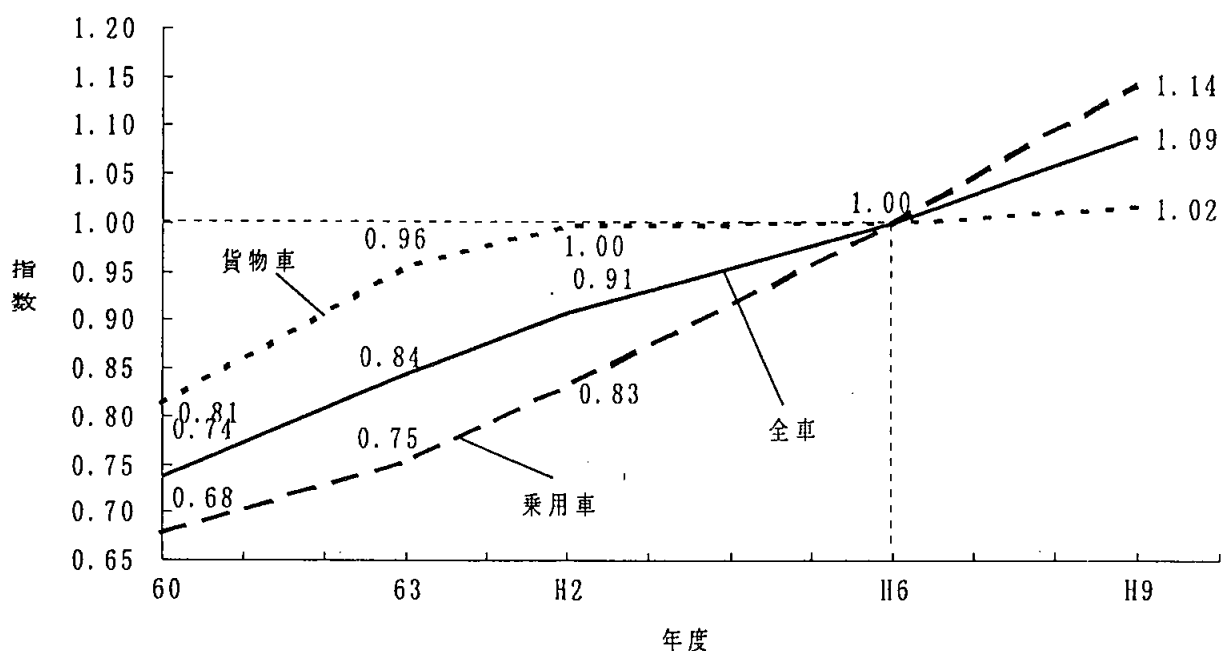


図1 自動車走行台キロの推移

表1 年平均伸率の比較(%/年)

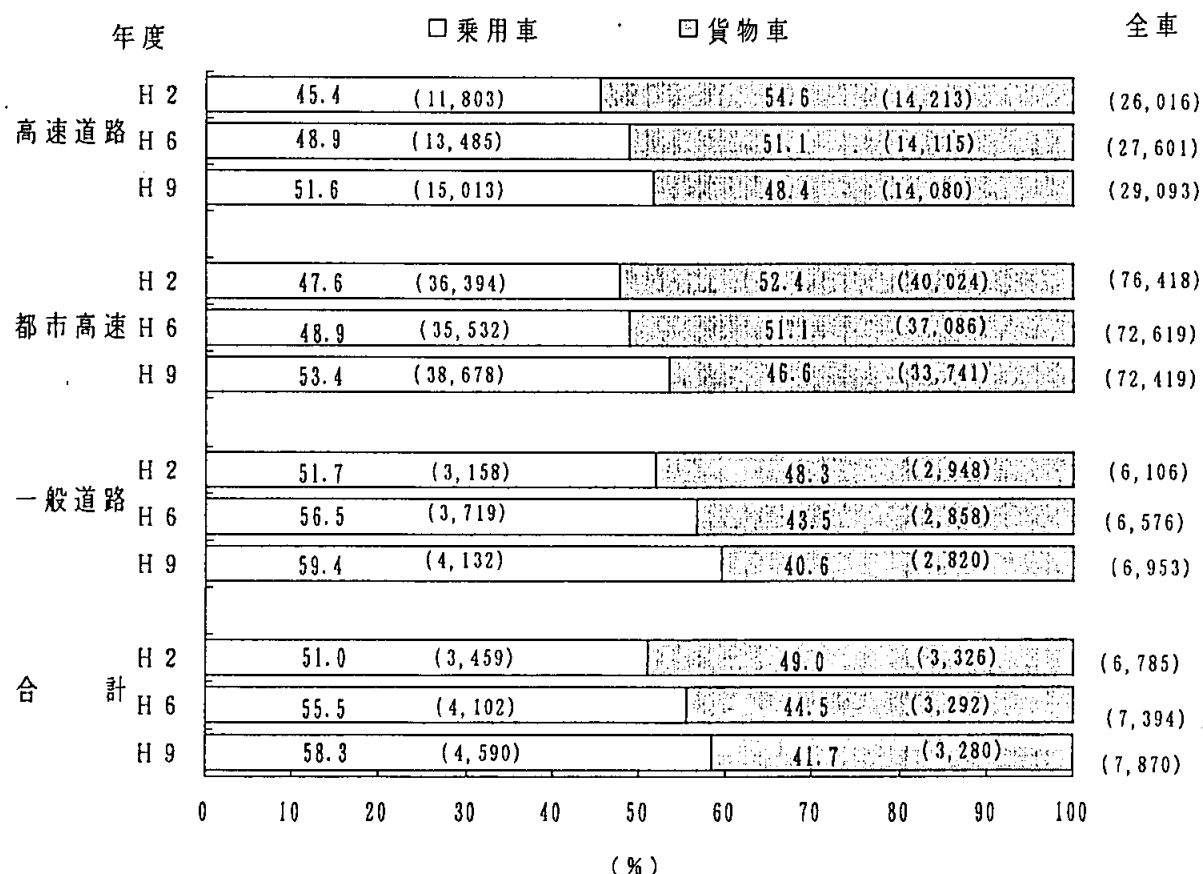
	H 6 → H 9	参) H 2 → H 6
自動車走行台キロ	2.8	2.5
乗用車	4.6	4.7
貨物車	0.6	0.1
自動車保有台数	2.4	3.0
免許保有者数	2.0	2.5

注) 自動車保有台数は平成9年度末、免許保有者数は平成9年末までの年平均伸率



注) 平成6年度を1.0とした。

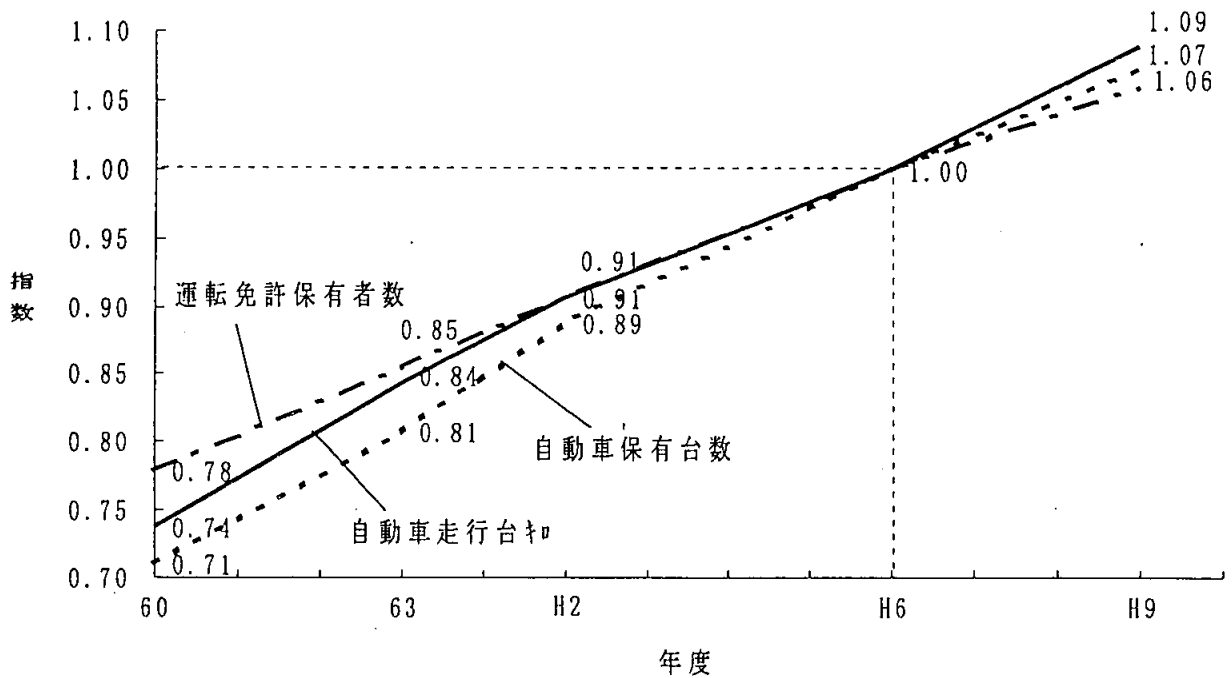
図2 車種別自動車走行台キロの推移



注) 1. 一般道路とは一般国道、主要地方道及び一般都道府県道の合計である。

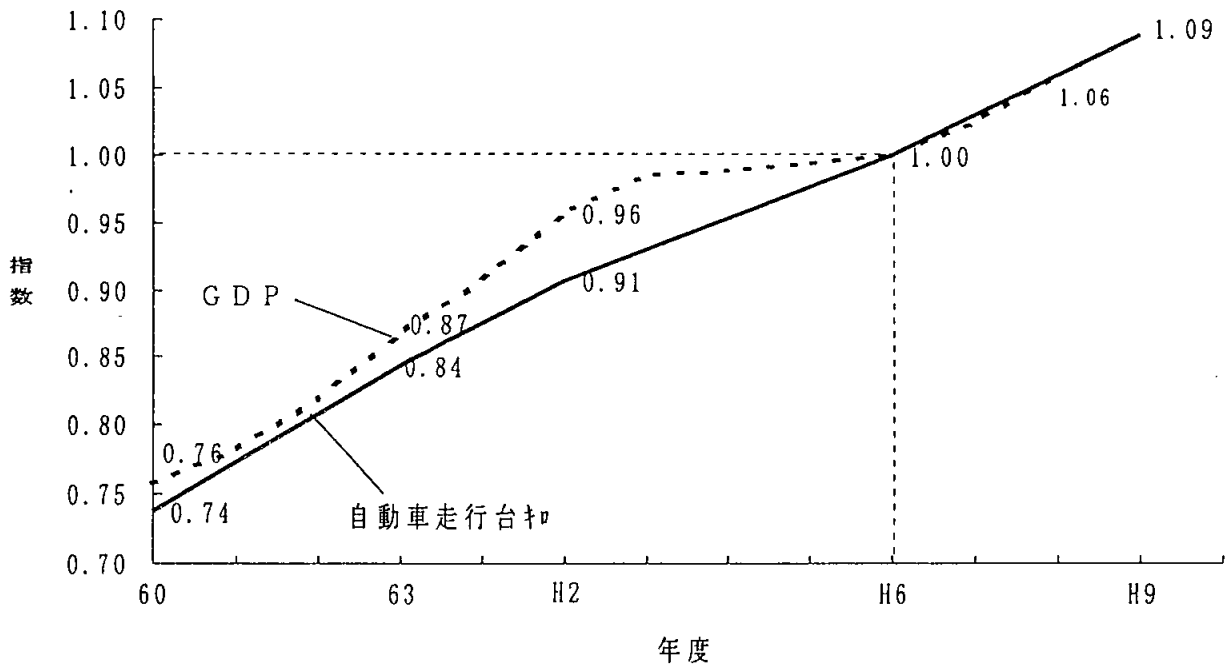
2. () 内は平均交通量で台/24h。

図3 平均交通量の車種別割合の推移



1. 走行台キロは、道路交通センサスによる24時間走行台キロ。
2. 運転免許保有者数は、警察庁調べによる平成9年末までの値。
3. 自動車保有台数は、運輸省「自動車保有車両数」による平成9年度末までの値。

図4 自動車走行台キロと社会経済指標の推移

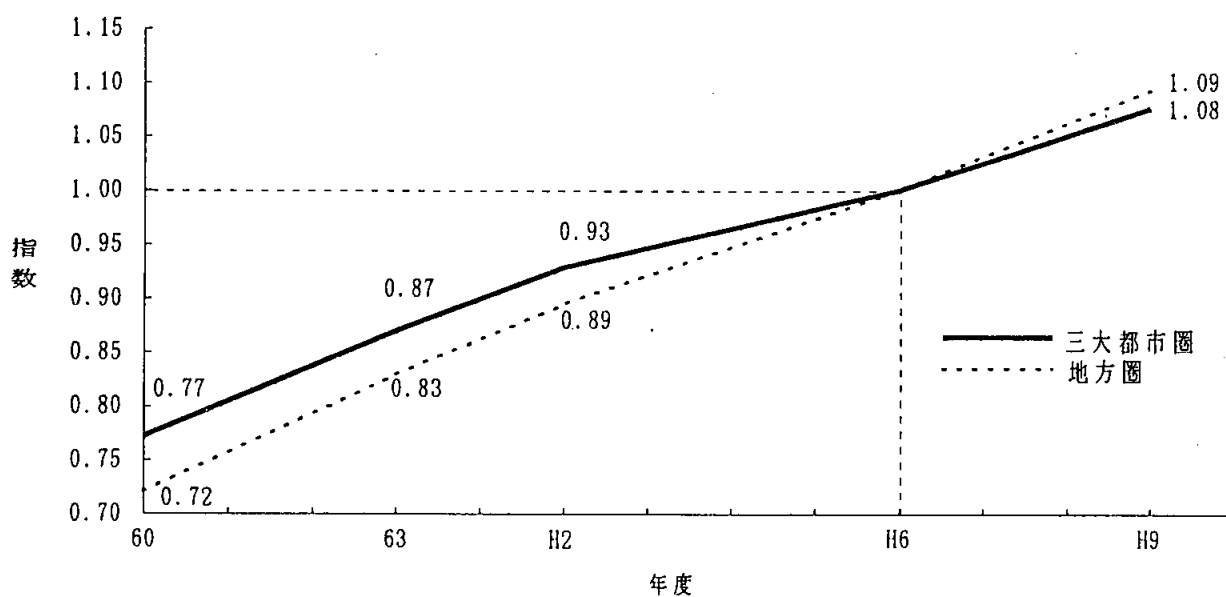


1. 走行台キロは、道路交通センサスによる24時間走行台キロ。
2. GDPは実質(H2年価格)。経済企画庁「国民経済計算年報」による平成8年度末までの値。

図5 自動車走行台キロとGDP

2. 自動車交通量の地域特性

三大都市圏と地方圏の走行台キロを比較すると、平成2年度から平成6年度では三大都市圏の伸びが高く、平成6年度から平成9年度の伸びでは三大都市圏が地方圏を下回っている。



注) 三大都市圏とは埼玉、千葉、東京、神奈川、愛知、三重、京都、大阪、兵庫の都府県である。

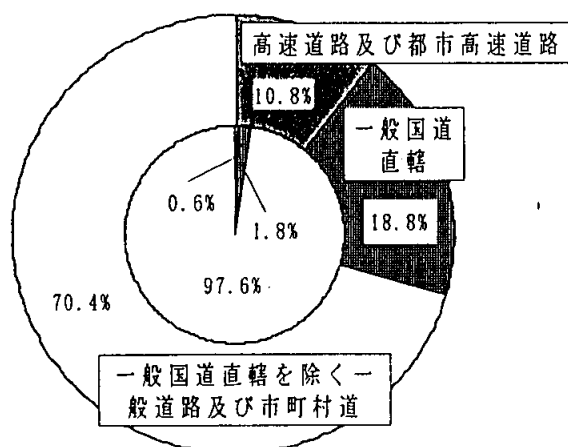
地方圏とは、三大都市圏以外の道県である。

注) 平成6年度を1.0とした。

図6 地域別自動車走行台キロの推移

3. 自動車交通分担

高速道路及び都市高速道路、一般国道(直轄)の延長の割合がそれぞれ0.6%、1.8% (合計2.4%) に対し、10.8%、18.8% (合計29.6%) の自動車の交通量を分担している。特に貨物自動車においては14.3%、21.9% (合計36.2%) の交通を分担している。



外側：走行台キロ 内側：延長

図7 自動車走行台キロ、延長の割合

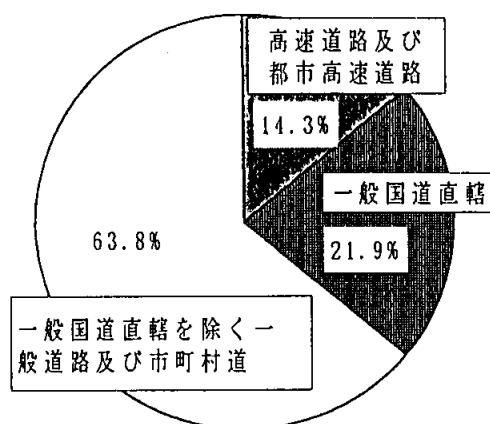


図8 貨物自動車走行台キロの割合

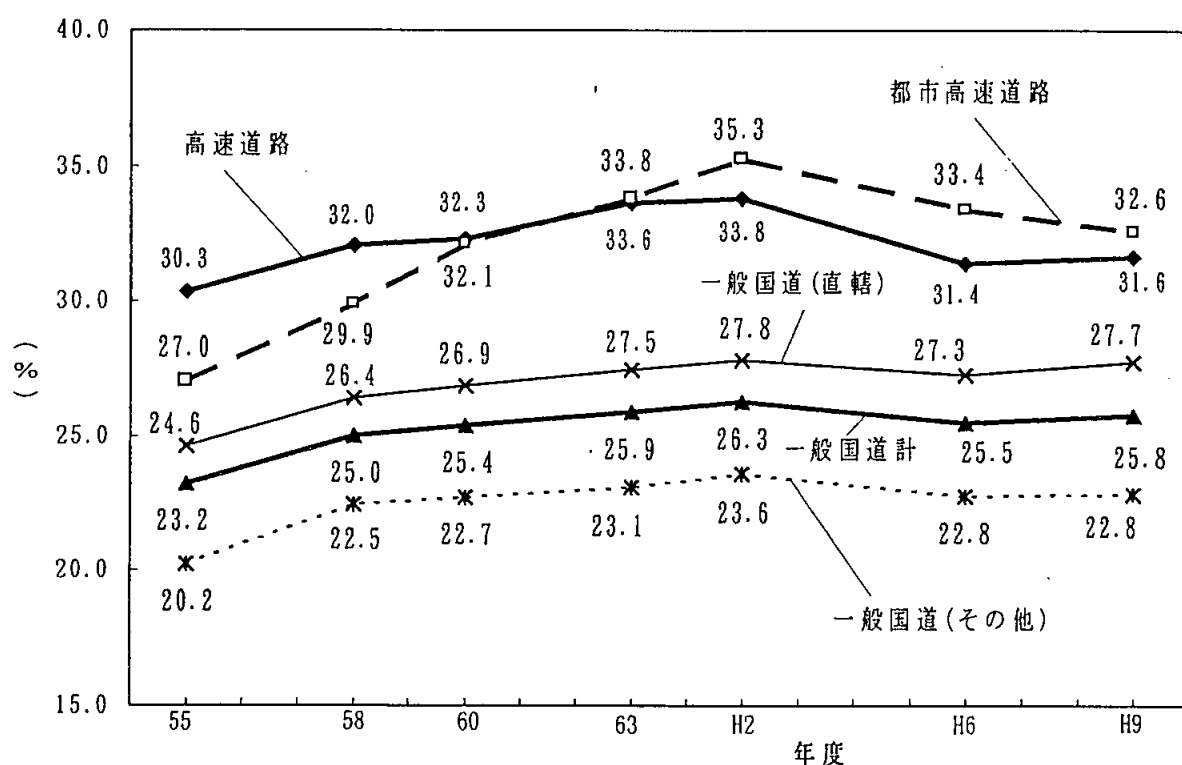
表2 道路種別別延長、自動車走行台キロの推移

道路種別	延長(km)				全車走行台キロ(千台キロ/24h)				貨物車走行台キロ(千台キロ/24h)			
	平成6年度		平成9年度		平成6年度		平成9年度		平成6年度		平成9年度	
	構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)
計	6058.4	0.5	6663.6	0.6	189307	10.1	217637	10.8	96789	13.4	104611	14.3
高速自動車国道	5567.7	0.5	6114.9	0.5	153673	8.2	177900	8.8	78590	10.9	86098	11.8
都市高速道路	490.7	0.0	548.7	0.0	35634	1.9	39736	2.0	18198	2.5	18514	2.5
計	176699.9	15.5	180114.4	15.7	1162054	62.0	1252256	62.0	504922	69.9	507973	69.5
一般国道計	53314.8	4.7	53281.3	4.6	601641	32.1	637492	31.5	267692	37.0	265187	36.3
一般国道(直轄)	20625.5	1.8	20654.4	1.8	362013	19.3	379213	18.8	162642	22.6	159960	21.9
一般国道(その他)	32689.3	2.9	32626.9	2.8	239627	12.8	258279	12.8	105051	14.5	105227	14.4
都道府県道	123385.1	10.9	126833.1	11.0	560413	29.9	614763	30.4	237230	32.8	242786	33.2
都道府県道以上計	182758.3	16.1	186778.0	16.3	1351361	72.1	1469892	72.7	601711	83.3	612585	83.8
市町村道	953599.9	83.9	961406.1	83.7	521935	27.9	551377	27.3	121000	16.7	118741	16.2
合計	1136358.2	100.0	1148184.1	100.0	1873296	100.0	2021269	100.0	722711	100.0	731326	100.0

- 注) 1. 都道府県道とは主要地方道と一般都道府県道の合計である。
 2. 都道府県道以上の延長と走行台キロはセンサス結果による。
 3. 市町村道の延長は道路統計年報による実延長で、平成9年度の値は平成8年4月1日現在。
 4. 走行台キロの合計は陸運統計要覧(運輸省)から換算した値である。

4. 夜間交通量の状況

夜間交通量の日交通量に対する比率は、高速道路、都市高速道路、一般国道ともに昭和55年度から平成2年度にかけて一貫して上昇していたが、平成6年度で減少、平成9年度では、都市高速道路が減少し、高速道路、一般国道は平成6年度と同程度ある。



注) 夜間交通量の日交通量に対する比率である。

図9 道路種別別夜間交通量比率の推移

5. 休日交通量と平日交通量の比較

- 1) 一般都道府県道以上の休日平日交通量比が1.0以上の道路の延長割合が平成6年度においては、35.7%であったが、平成9年度には31.7%に減少している。
- 2) 観光地の道路では休日交通量が平日交通量の5倍以上のところもある。

(注) 休日平日交通量比：休日交通量を平日交通量で除したもの。

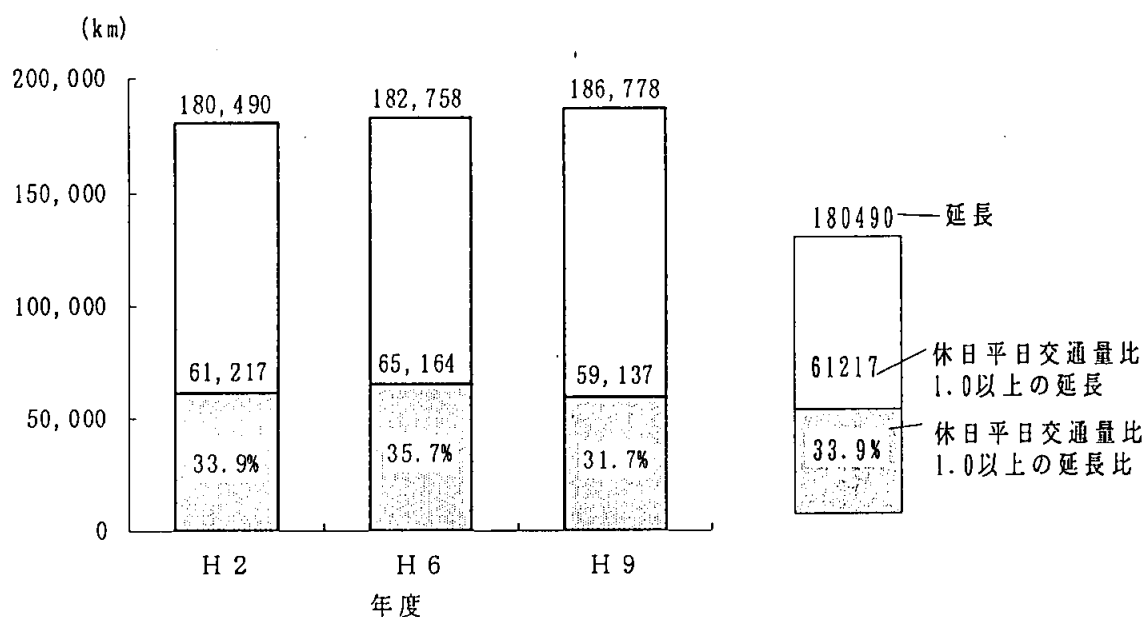


図10 休日平日交通量比1.0以上の延長割合の推移

表3 休日交通量が卓越している区間（代表例）

路線名	観測地点	交通量（台/12h）		休日平日交通量比
		平日	休日	
諏訪白樺湖小諸線	長野県茅野市北山本道	1,147	6,708	5.848
渋川松井田線	群馬県北群馬郡伊香保町伊香保	1,325	7,202	5.435
一般国道120号	栃木県日光市奥日光国有林	1,562	8,490	4.844
一般国道453号	北海道恵庭市奥漁（札幌市境）	2,370	9,582	4.043

6. 旅行速度

(1)

- 1) 平日の旅行速度は、各道路種別で平成6年度からは上昇しており、とくに高速道路と都市高速では約10km/h速くなっている。
- 2) 休日の旅行速度は、平成6年度と比較すると概ね約1 km/h～7 km/h速くなっている。

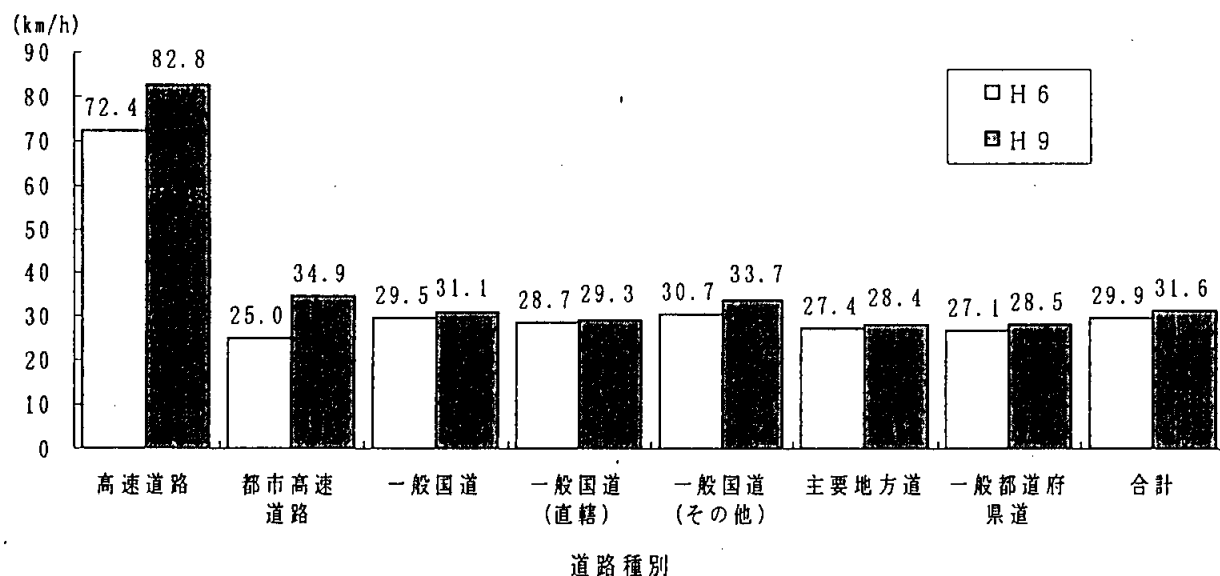


図1-1 道路種別別平均旅行速度の推移(平日)

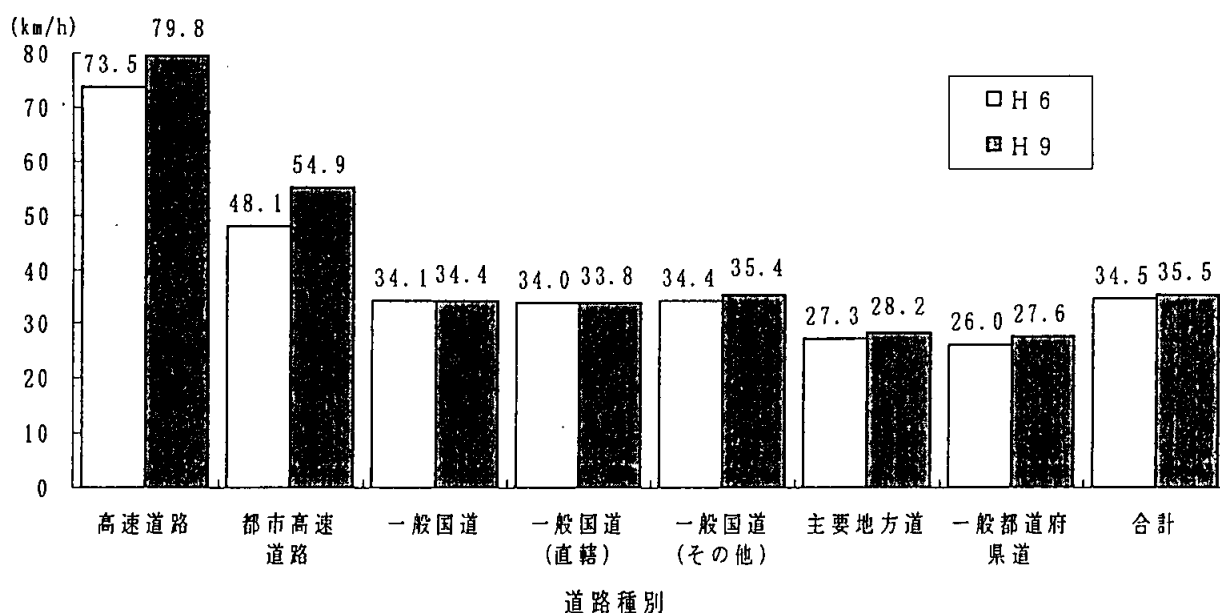


図1-2 道路種別別平均旅行速度の推移(休日)

注) 平均旅行速度は交通量で重み付けした値。

(2)

- 1) 平日のD I Dの旅行速度は、各道路種別で平成6年度と比べて上昇しており、とくに高速道路は約13km/h、都市高速道路では約10km/h速くなっている。
- 2) 休日のD I Dの旅行速度は、平成6年度と比べて高速道路は約15 km/h低下、都市高速道路は7 km/h上昇し、一般道路は変化が小さい。

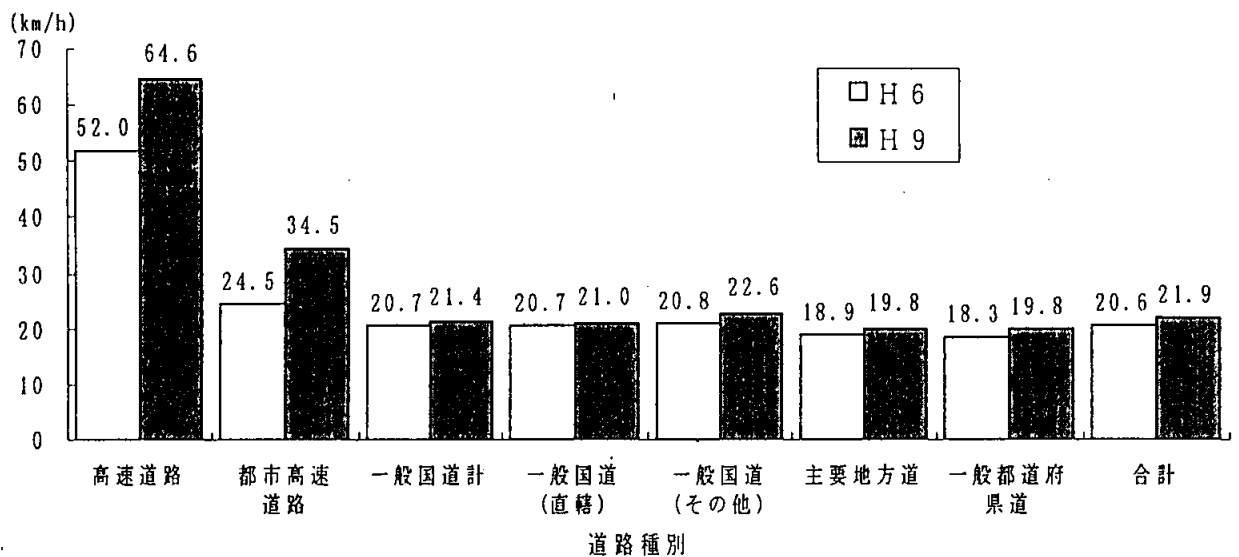


図1-3 道路種別別平均旅行速度の推移(平日・D I D)

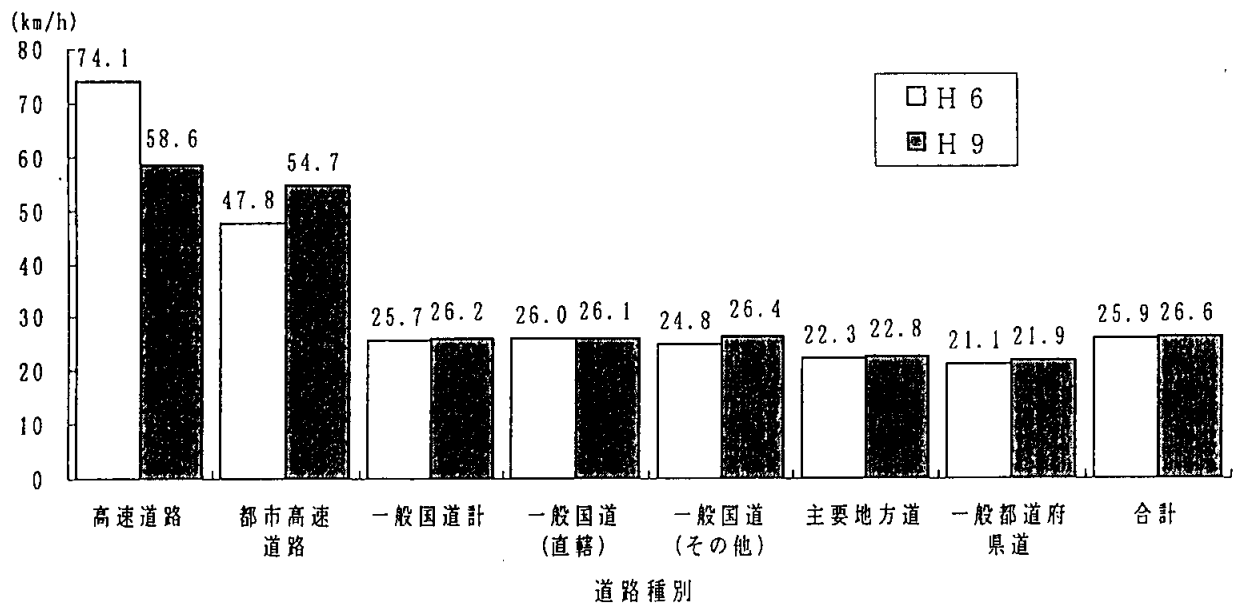
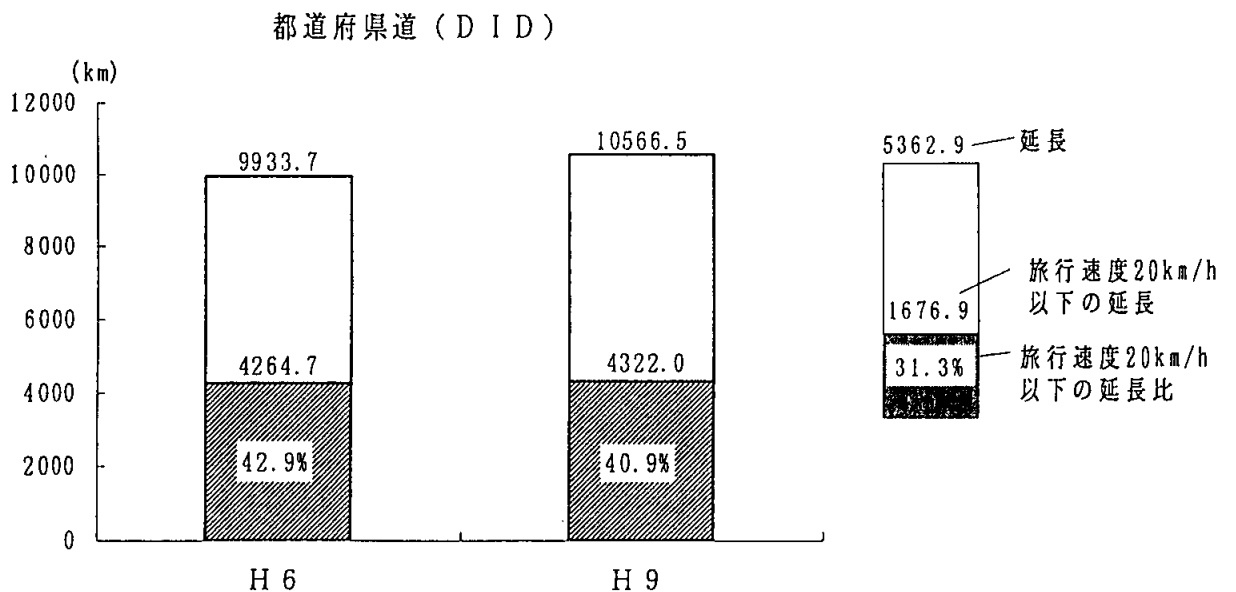
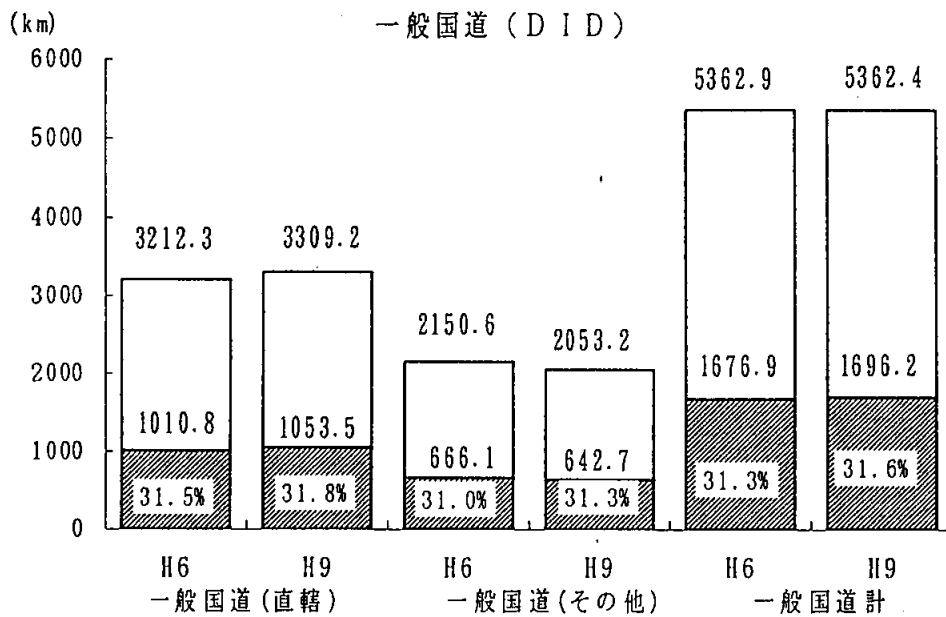


図1-4 道路種別別平均旅行速度の推移(休日・D I D)

注) 平均旅行速度は交通量で重み付けした値。

(3)

D I D内の一般国道でのラッシュ時平均旅行速度が20km/h未満というサービスレベルの低い道路は、平成6年度に31.3%を占めていたが、平成9年度には31.6%とわずかに増加している。



注) 都道府県道とは主要地方道と一般都道府県道の合計である。

図15 速度のサービス水準の低い道路のシェアの推移

7. その他の道路整備水準

一般道路について、歩道設置率、幅の広い歩道設置率、四車線化率、道路緑化率が過去から一貫して増加、また道路と鉄道との平面交差の密度は低くなっているものの、依然22.1箇所/千kmにとどまっている。

表4 一般道路の整備水準の推移

年 度	歩 道				四車線化		道路緑化		鉄道平面交差		調査延長 km
	設置延長 km	設置率 %	うち幅広 歩道	率 %	延長 km	率 %	延長 km	率 %	箇所数	密度 箇所/千km	
S 5 5	34,363.5	20.2	5,780.6	3.4	5,982.1	3.5	—	—	4,630	27.2	170,111.8
5 8	40,922.5	23.7	7,288.8	4.2	6,357.5	3.7	—	—	4,652	26.9	172,742.3
6 0	45,421.9	26.2	8,600.9	5.0	6,857.7	4.0	8,437.5	4.9	4,401	25.4	173,487.1
6 3	51,764.7	29.7	10,532.7	6.0	7,833.7	4.5	10,304.8	5.9	4,128	23.6	174,567.9
H 0 2	55,502.7	31.6	11,601.5	6.6	8,460.6	4.8	11,015.4	6.3	4,122	23.5	175,394.1
0 6	62,554.5	35.4	14,254.8	8.1	9,738.7	5.5	12,746.2	7.2	4,009	22.7	176,699.9
0 9	67,846.2	37.7	16,770.7	9.3	10,807.8	6.0	14,166.7	7.9	3,972	22.1	180,114.4

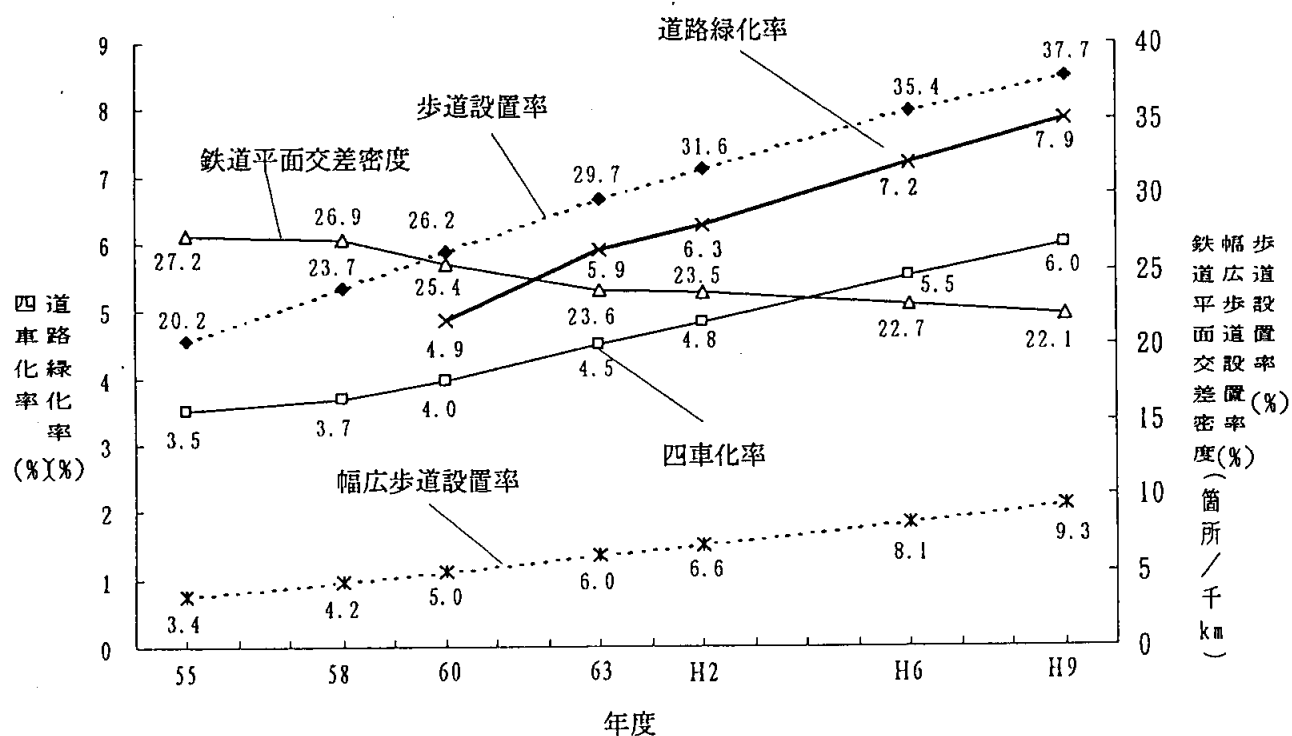


図16 一般道路の整備水準の推移

- 注) 1. 幅広歩道とは歩道幅員が3m以上の歩道である。
 2. 四車線化延長とは4車線以上の道路延長である。
 3. 一般道路(一般国道、主要地方道、一般都道府県道)を対象に集計した。

表一1 平日昼間12時間交通量の上位10傑(高速自動車国道)

順位	交通量 (台/12h)	路線名	観測地点名
1	96,545	近畿自動車道	松原JCT～長原IC間
2	78,773	東関東自動車道	宮野木JCT～千葉北IC間
3	77,582	東京外環自動車道	外環浦和IC～川口西IC間
4	77,581	東名高速道路	横浜町田IC～厚木IC間
5	72,819	東名阪自動車道	勝川第二IC～楠IC間
6	72,413	名神高速道路	茨木IC～吹田JCT間
7	70,679	常磐自動車道	三郷IC～流山IC間
8	70,522	中国自動車道	宝塚IC～西宮北IC間
9	68,811	関越自動車道	所沢IC～川越IC間
10	68,227	東北自動車道	浦和IC～岩槻IC間

表一2 平日昼間12時間交通量の上位10傑(都市高速道路)

順位	交通量 (台/12h)	路線名	観測地点名
1	91,274	高速大阪東大阪線(阪神高速)	大阪府大阪市中央区船場中央2丁目
2	82,414	高速湾岸線(首都高速)	東京都品川区八潮3丁目2
3	79,292	高速大阪池田線(阪神高速)	大阪府大阪市中央区島之内1丁目
4	74,966	高速都心環状線(首都高速)	東京都港区芝3丁目2
5	70,848	市道高速2号(名古屋高速)	愛知県名古屋市瑞穂区堀田通1丁目
6	65,222	高速大阪堺線(阪神高速)	大阪府大阪市西成区千本北2丁目
7	64,140	高速中央環状線(首都高速)	東京都江戸川区北葛西2丁目
8	63,480	高速湾岸線(阪神高速)	大阪府大阪市住之江区南港東4丁目
9	62,953	高速神戸西宮線(阪神高速)	兵庫県芦屋市精道町
10	61,144	高速6号三郷線(首都高速)	埼玉県八潮市浮塚626

表一3 平日昼間12時間交通量の上位10傑(一般道路)

順位	交通量 (台/12h)	路線名	観測地点名
1	102,714	一般国道8号	新潟県新潟市神道寺
2	92,765	一般国道7号	新潟県新潟市江南3丁目
3	88,978	一般国道423号	大阪府大阪市淀川区十八条1丁目
4	86,367	一般国道16号	神奈川県横浜市旭区今川町
5	84,701	一般国道1号	東京都千代田区霞ヶ関1丁目1
6	78,217	一般国道2号	兵庫県神戸市中央区脇浜町2丁目
7	77,797	一般国道23号	愛知県名古屋市港区東築地町
8	75,410	主要地方道大阪中央環状線	大阪府吹田市万国記念公園千里橋下部
9	63,654	一般国道54号	広島県広島市東区牛田神町2丁目
10	62,203	一般国道22号	愛知県名古屋市西区上堀越町二丁目

注) 1. 一般国道の一般有料道路を除く。

2. 同一路線で複数の区間が対象となった場合は、上位の区間のみ示した。

3. 車線数が4以上の区間を対象とした。

表-4 休日12時間交通量の上位10傑(高速自動車国道)

順位	交通量 (台/12h)	路線名	観測地点名
1	81,377	東名高速道路	横浜町田IC～厚木IC間
2	78,687	近畿自動車道	松原JCT～長原IC間
3	77,130	関越自動車道	鶴ヶ島JCT～鶴ヶ島IC間
4	71,767	東関東自動車道	湾岸市川IC～湾岸習志野IC間
5	71,642	中国自動車道	宝塚IC～西宮北IC間
6	67,435	名神高速道路	茨木IC～吹田JCT間
7	66,238	常磐自動車道	三郷IC～流山IC間
8	64,063	西名阪自動車道	柏原IC～藤井寺IC間
9	60,825	東京外環自動車道	外環浦和IC～川口西IC間
10	60,466	東北自動車道	浦和IC～岩槻IC間

表-5 休日昼間12時間交通量の上位10傑(都市高速道路)

順位	交通量 (台/12h)	路線名	観測地点名
1	77,012	高速湾岸線(首都高速)	千葉県浦安市弁天1丁目
2	76,448	高速大阪東大阪線(阪神高速)	大阪府大阪市中央区船場中央2丁目
3	72,420	高速都心環状線(首都高速)	東京都千代田区北の丸公園1
4	64,052	高速大阪池田線(阪神高速)	大阪府大阪市西区新町1丁目
5	61,106	高速4号新宿線(首都高速)	東京都世田谷区下高井戸1丁目3
6	59,741	高速6号三郷線(首都高速)	埼玉県八潮市浮塚626
7	59,138	高速3号渋谷線(首都高速)	東京都世田谷区玉川台2丁目24
8	58,150	高速中央環状線(首都高速)	東京都江戸川区北葛西2丁目
9	56,844	高速5号池袋線(首都高速)	東京都文京区目白台3丁目26
10	55,928	高速神戸西宮線(阪神高速)	兵庫県芦屋市精道町

表-6 休日昼間12時間交通量の上位10傑(一般道路)

順位	交通量 (台/12h)	路線名	観測地点名
1	84,205	一般国道423号	大阪府大阪市淀川区十八条1丁目
2	82,679	一般国道16号	神奈川県横浜市旭区今川町
3	78,378	一般国道8号	新潟県新潟市神道寺
4	76,551	一般国道7号	新潟県新潟市江南3丁目
5	66,631	主要地方道大阪中央環状線	大阪府豊中市緑丘2丁目
6	66,244	一般国道22号	愛知県一宮市丹陽町伝法寺
7	60,380	一般国道2号	兵庫県姫路市北原
8	58,342	一般国道23号	愛知県名古屋市長区大高町忠治山
9	56,801	一般国道246号	神奈川県厚木市菱田1048
10	56,286	一般国道54号	広島県広島市東区牛田新町2丁目

注) 1. 一般国道の一般有料道路を除く。

2. 同一路線で複数の区間が対象となった場合は、上位の区間のみ示した。

3. 車線数が4以上の区間を対象とした。

表一7 昼間12時間交通量休日平日交通量比の上位10傑(高速自動車国道)

順位	平休比	交通量(台/12h)		路線名	観測地点名
		平日	休日		
1	2.243	6,141	13,775	米子自動車道	湯原IC～蒜山IC間
2	1.764	12,744	22,482	上信越自動車道	松井田妙義IC～碓氷軽井沢IC間
3	1.704	8,400	14,310	中国自動車道	落合JCT～落合IC間
4	1.587	6,346	10,073	東海北陸自動車道	美濃IC～美並IC間
5	1.543	6,893	10,634	高知自動車道	大豊IC～南国IC間
6	1.522	8,646	13,162	山陽自動車道	岡山JCT～岡山総社IC間
7	1.503	8,372	12,582	関越自動車道	水上IC～湯沢IC間
8	1.502	12,582	18,894	阪和自動車道	海南東IC～海南IC間
9	1.498	9,190	13,763	舞鶴自動車道	丹南篠山口IC～春日IC間
10	1.482	13,222	19,597	北陸自動車道	敦賀IC～木之本IC間

注) 休日交通量が10,000台/12h以上を対象とした。

表一8 昼間12時間交通量休日平日交通量比の上位10傑(都市高速道路)

順位	平休比	交通量(台/12h)		路線名	観測地点名
		平日	休日		
1	1.315	32,635	42,914	高速11号台場線(首都高速)	東京都港区台場2丁目
2	1.157	31,402	36,328	高速7号小松川線(首都高速)	東京都墨田区千歳3丁目18
3	1.114	32,177	35,843	高速湾岸線(首都高速)	東京都大田区羽田空港3丁目
4	1.056	44,736	47,256	高速6号向島線(首都高速)	東京都墨田区両国1丁目12
5	1.046	32,106	33,589	高速湾岸線(阪神高速)	大阪府泉大津市汐見町
6	1.018	71,125	72,420	高速都心環状線(首都高速)	東京都千代田区北の丸公園1
7	1.013	56,103	56,844	高速5号池袋線(首都高速)	東京都文京区目白台3丁目26
8	1.006	60,766	61,106	高速4号新宿線(首都高速)	東京都世田谷区下高井戸1丁目3
9	0.978	60,445	59,138	高速3号渋谷線(首都高速)	東京都世田谷区玉川台2丁目24
10	0.977	61,144	59,741	高速6号三郷線(首都高速)	埼玉県八潮市浮塚626

注) 休日交通量が10,000台/12h以上を対象とした。

表一9 昼間12時間交通量休日平日交通量比の上位10傑(一般道路)

順位	平休比	交通量(台/12h)		路線名	観測地点名
		平日	休日		
1	8.709	567	4,938	那智勝浦古座川線	和歌山県東牟婁郡那智勝浦町金山
2	8.188	611	5,003	藤原塩原線	栃木県塩谷郡藤原町藤原1334
3	5.848	1,147	6,708	諏訪白樺湖小諸線	長野県茅野市北山本道(白樺料金所)
4	5.842	1,213	7,086	山陽豊田線	山口県美祢市西厚保町長尾
5	5.653	1,404	7,937	山西大津線	熊本県阿蘇郡西原村馬場
6	5.454	850	4,636	高根富士見線	山梨県北巨摩郡小淵沢町大平1061
7	5.435	1,325	7,202	渋川松井田線	群馬県北群馬郡伊香保町伊香保
8	5.435	1,562	8,490	一般国道120号	栃木県日光市奥日光国有林
9	5.064	897	4,542	川俣温泉川治線	栃木県塩谷郡栗山村野角大川筋6
10	4.993	1,044	5,213	一般国道292号	群馬県吾妻郡六合村大川入山峠

注) 休日交通量が4,000台/12h以上を対象とした。